ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

米国中型株式市場の下落と今後の見通しについて
～堅調な景気や米国中型企業の業績見通しに変化なし～

※当資料は、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。
※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

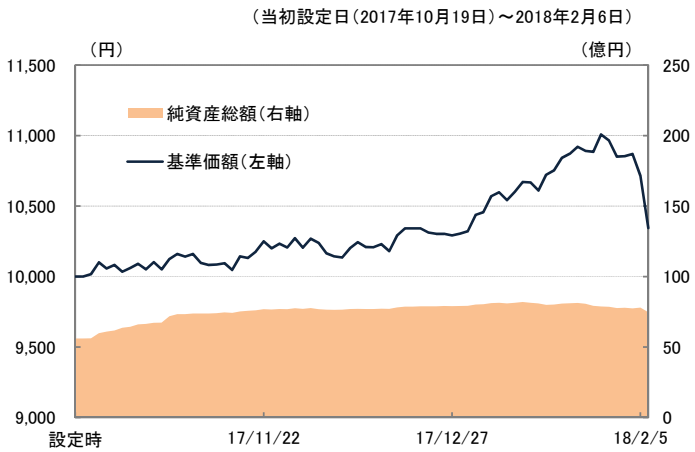
2018年2月7日

お伝えしたいポイント

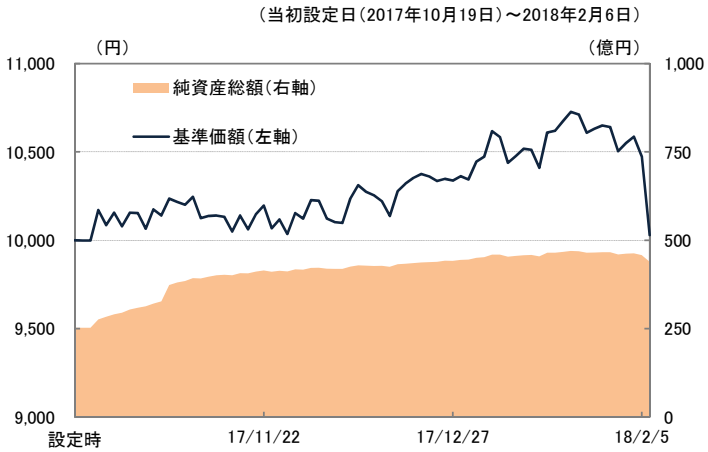
- 米国長期金利の上昇を受けて米国中型株式市場が下落
- 堅調な景気や米国中型企業の業績見通しに変化なし
- 今後の運用方針に変更はなく、確信の持てる企業を買い増しへ

基準価額・純資産総額の推移

＜為替ヘッジあり＞



＜為替ヘッジなし＞



※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
販売会社等についてのお問い合わせ⇒　大和投資信託　フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）　HP http://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management

米国長期金利の上昇を受けて米国中型株式市場が下落

米国株式市場は2月2日（現地、以下同様）から価格変動の激しい展開となっており、米国のS&P500指数は2日に2.1%、5日に4.1%下落したほか、5日のNYダウは前日比1,175ドル安と過去最大の下落幅となりました。米国株式は幅広い銘柄に売りが出て、米国中型株指数も2日に2.0%、5日に3.5%下落しました。

米国では昨年来、良好なマクロ環境が続いており、FRB（米国連邦準備制度理事会）は2017年12月に政策金利の追加利上げを実施しました。また、2月2日に発表された雇用統計では賃金の上昇率が市場予想を上回り、FRBが景気過熱を抑えるため利上げペースを加速させるとの思惑が広がった結果、金利の上昇圧力が強まり、10年債利回りは約4年ぶりの水準となる2.8%台まで上昇しました。

堅調な景気や米国中型企業の業績見通しに変化なし

米国中型株式市場は昨年後半以降に上昇ペースを強めましたが、1月下旬以降、長期金利の上昇などを受けて下落基調となりました。こうした動きは、FRBの金融政策が引き締めに向かう中、企業の資金調達コストが上昇し、景気回復の腰を折るのではないかという市場の警戒感を反映したものと思われます。また、株価の上昇を受けて利益確定売り圧力が強まったことなども影響したと推察されます。一方で、米国中型企業の2017年10－12月期の決算は概ね良好で堅調な業績を維持しています。従って、今回の急落は企業のファンダメンタルズが要因ではなく、企業業績が良好な銘柄の株価は今後反転するとみています。

米国経済のファンダメンタルズに目を向けると、2017年10－12月期の経済指標では個人消費、設備投資が加速したほか、住宅投資も増加しつつあり、米国経済は内需拡大がけん引して堅調に推移していることが示されています。さらに、税制改革、技術革新の進展などが米国景気の拡大局面の長期化をもたらす可能性があると考えます。

今後の運用方針に変更はなく、確信の持てる企業を買い増しへ

多国籍企業を中心とした大型株式にくらべ、米国国内に事業基盤を置く企業が多い中型株式は内需拡大の恩恵をより受け易いことから、2018年1月から適用されている税制改革の効果が目に見える形で企業収益に反映されていけば、中長期的な成長に対するポジティブな見方が株式市場に広がり、株価上昇につながるとみています。

こうした楽観的な見方の一方で、銘柄間の株価の動きにばらつきが生じつつある点を慎重にみています。今後、投資家が企業のファンダメンタルズにより注目するようになる中で、長期的な成長が期待できる銘柄の選別が一段と重要になると考えます。特に、情報技術およびヘルスケアセクターは、長期的な成長力を持つ企業への投資機会が期待できる反面、急速なビジネスモデルの変化に対応できる企業の選択眼が問われる分野です。

ジャナスの米国中型グロース株式戦略運用チームは、優秀な経営陣を有し、継続して高い投下資本利益率を有する企業の発掘に引き続き、注力していきます。今後も徹底した企業分析に基づき、収益モデルを確立する途上にある銘柄や、安定的な成長を支える競争力がまだ過少評価されているような銘柄を発掘することにより、中長期的な観点から持続的な成長が期待できる米国の中型株式に投資していく方針です。

以上

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の中型株式等に投資します。
（注１）「中型株式等」とは、時価総額をもとにジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーが中型と判断した株式等をいいます。
（注２）「株式等」には、リート（不動産投資信託）および DR（預託証券）を含みます。
（注３）一部大型株式を保有する場合があります。
◆米国の中型株式等の中から、高い投下資本利益率を有し持続可能な成長が期待できる銘柄を重視します。
◆ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。
- 米国の中型株式等の中から、企業および業界の成長性、経営の質等を考慮し、調査対象銘柄を選定します。
- 調査対象銘柄に対して、キャッシュフロー、財務健全性、バリュエーション等のファンダメンタルズ分析を基に、組入候補銘柄を決定します。
- 組入候補銘柄の中から、高い投下資本利益率を有し持続可能な成長が期待できる銘柄を重視し、リスクを抑え中長期的な視点でポートフォリオを構築します。

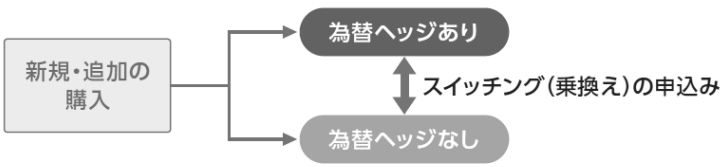
2. 米国の中型株式等の運用は、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーが行ないます。
◆外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。

3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の２つのファンドがあります。

為替ヘッジあり	**為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。** ※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。 ※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
為替ヘッジなし	**為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。** ※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

スイッチング（乗換え）について

◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。



※販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング（乗換え）のお取扱いがない場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）：為替ヘッジあり
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）：為替ヘッジなし
◆上記の総称を「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド」とします。

4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
- マザーファンドは、「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」です。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「リートの価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「中型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行ないますが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%（税抜3.0%） スイッチング（乗換え）による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率 1.7604% （税抜 1.63%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社：大和証券 Daiwa Securities
商号等　大和証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号
加入協会　日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用：大和投資信託 Daiwa Asset Management
商号等　大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会